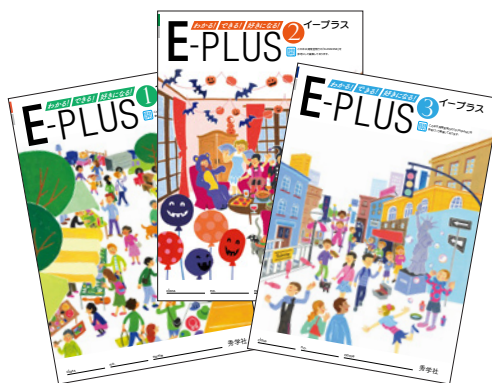


「英語が身につく」教材になるために

教材活用シリーズ 第115回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果を得られるポイント（場面・方法）などを紹介します。

(株)秀学社 『E-PLUS』



(株)秀学社 編集部 英語担当

『E-PLUS』の編集方針は、ひとことでいえば「英語を使う」ことで、「英語が身につく」ような教材になることである。本誌や解答編には、そのための「しくみ」や「試み」を設けている。「試み」と書いたように、「しくみ」として機能するかどうかもまだまだ検証が必要なものもあり、それらは「試しに使ってみてください」と先生方に提案するスタンスで設けている。

このような機会を頂いたので、『E-PLUS』の「試み」をご紹介させていただきたい。私たち直販メーカーの強みは、教材を使われる

先生方との距離や先生方と私たちをつないでくださる販売店の方々との距離がとても近いことだと感じている。感想やご意見を、担当者やホームページまでお寄せいただけると、とてもありがたい。

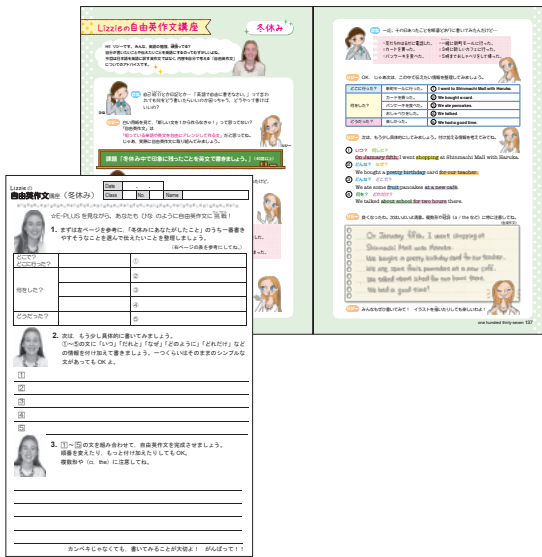
1. イメージしやすい英文

英文は、問題のためだけの英文にしない。『E-PLUS』の前身である『基礎・発展ワーク』時代からの方針であり、英文では、できるだけ生徒たちがイメージしやすい身の回りの

ことを表現するよう心がけている。例えば、次の二文を読み比べていただきたい。
・私はマンガが好きです。
・私は『ワンピース』が好きです。
後者のように身近な固有名詞を英文に取り入れることによって、生徒たちが、英文を身近に感じたり、「ぼくなら『進撃の巨人』を入れる！」というように英文を自分のことに言い換えたりしてもらうことをねらっている。このような英文を、『E-PLUS』本誌には過度にならないように、また、無料ふるくの『基本文練習ノート』には盛りだくさん、取り入れている。
実際のところ、この試みに対しては賛否両論の反響を頂いている。生徒たちが英文を自分のことに言い換えるのはハードルが高いというご意見や、かえって生徒たちの気が散るとのご意見がある一方で、編集意図どおりに、生徒たちが英文に興味をもつので続けてほしいというご要望も多く頂いている。このような英文の有用性についてはさらに検証を行うとともに、「英語を使う」きっかけが提供できるように、今後も新たな試みを行っていききたい。

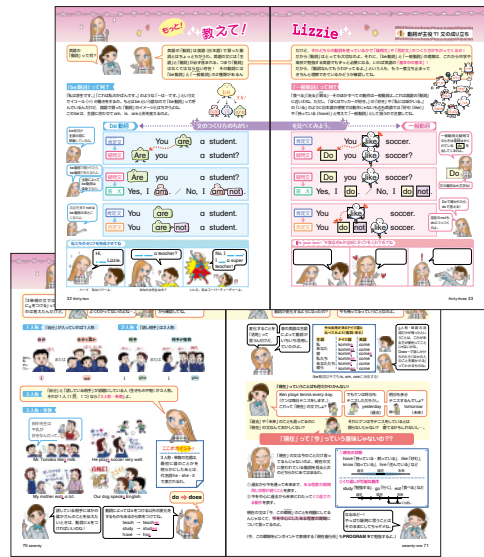
2. 学びを一步先へ進める、読み物資料

改訂を重ねて一定の評価を頂いているのが、読み物資料である。1年時につまずきやすい文法事項を解説した「もつと！ 教えて！ Lizzie」は、図示がわかりやすいと好評である。また、自由英作文問題への取り組み方を教える「Lizzieの自由英作文講座」は、入試対策に数



▲「Lizzie の自由英作文講座」とワークシート

回分をまとめて使ってください。学校もあるの
で、2019年度版では、新たな資料として、
教師用CD-ROMにワークシートを収録した。



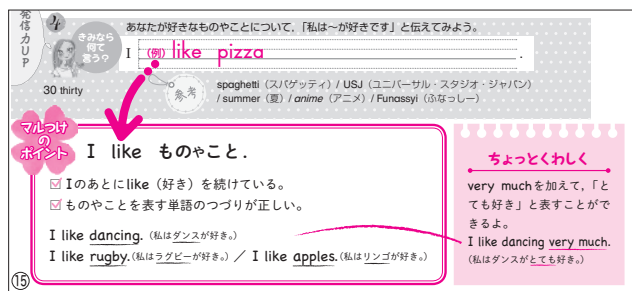
▲「もっと！教えて！Lizzie」

3. 2019年度版での、新たな試み

新年度版での新たな試みを、あと二つご紹介
させていただきたい。解答編（三省堂版）の改
訂と、自学自習のためのヒント集『ポケット・
イープラス』（開隆堂版）の発行であり、
どちらも、近年ワークブックの使用場面が家庭
学習メインとなっていることに対応した試み
である。

解答編（三省堂版）は、自己表現に「マルつ
けのポイント」を追加した。たとえ答えを写す
のであっても、丸写しではなく、これを読ん
で英文の書き方に意識を向けて
もらうことをねらっている。紙
面も親しみやすいデザインに変
更している。

また、今まで
にない試みが、
無料ふろくの
『ポケット・イー
プラス』（開隆
堂版）である。
『EIPPLUS』
でわからない問
題があれば、答えを見る前に、この『ポケット・
イープラス』のヒントを見て、自力で解いても
らうことをねらっている。ヒントに加えて、単



▲（解答と解説）
「きみなら何て言う？」に設けた「マルつけのポイント」

元冒頭に読み物のページがあり、各単元の文法
をイラスト入りでわかりやすく解説している。
この『ポケット・イープラス』は、かばんに入
れて持ち歩き、十分に活用していただくことを
願っている。



▲単元冒頭の読み物



▼ヒントは、各解答欄に配置

